

わかしお便り

Vol. 62

Wakashio Dayori
2022.12.19

CONTENTS 原料小麦情報……シカゴ市況、麦価・粉価動向など
市場トレンド情報……‘ちばふん’目線で最近の食品市場をご案内
当社製品情報……イチオシ製品のご紹介
雑感



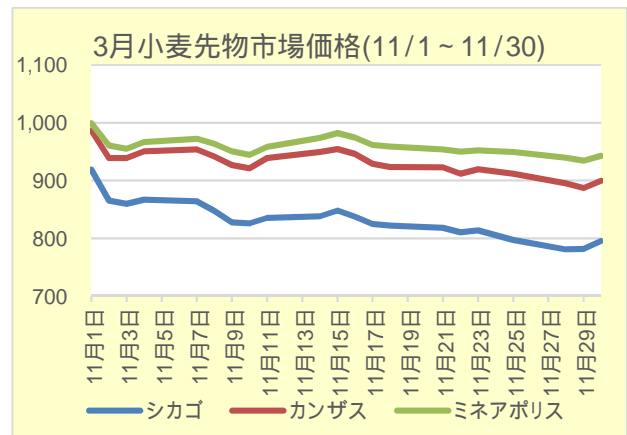
黒海輸出をめぐる合意に左右されるも 下落基調続く。2か月ぶり7ドル台

11/1～11/30のシカゴ穀物相場(3月限)は¢773～904/ブッシェル(bu)のレンジで推移しました。

11月の小麦相場は黒海における穀物輸出の動向に反応するかたちで右肩下がりとなりました。

ロシアによるウクライナ産農産物の輸出をめぐる合意履行停止表明を受け、10月末のシカゴ相場は大きく上昇しました。しかし、2日に合意への復帰が表明されると、同日終値は前日から54セントの大幅な下落をみせ、シカゴ相場は再び8ドル台の推移となりました。8日にUSDA(米国農務省)が発表した需給報告の中では、干ばつによりアルゼンチンや欧州の生産見通しが下方修正されたものの、豪州の見直し引き上げがそれを上回ったことで世界期末在庫は予想を上回る内容となり、相場はさらに一段水準を下げました。その後も下落基調は続き、17日に上記輸出合意の延長が表明されたことや、月末にかけてドル高が進んだことで25日には約2か月ぶりに7ドル台の値を付けました。

12月に入ってから下落基調は続いており、12/6時



点で¢729と、7月ぶりとなる6ドル台が目前となっています。米国の輸出量減少を受けての売りや他市場の下落が要因とみられていますが、黒海の輸出状況によっては再び上昇する可能性もあるため、引き続き注視が必要です。

豪州産小麦は11月に入り収穫が本格化しました。今年は3年連続の豊作となる見込みですが、地域によっては長雨の影響により、例年と比べて収穫が遅れているところもあるようです。12月も平年降雨量を上回る見込みの地域が多いようですので、収穫進捗と品質情報を確認していきたいと思います。



市場トレンド

情報

Z世代の食意識

早いもので今年も残り一か月を切りました。今年を振り返ると新型コロナウイルスによる規制は緩和されているものの、これまでの日常を取り戻したとは言い難い状況が続いているかと思えます。難しい状況が続くなか、これから年末に向けて何かとお忙しいかと思えますが、気持ち良く新年を迎えられるよう、体調管理には十分に気を付けて過ごしていきましょう。

ここでは食にまつわる市場トレンドをご紹介しますが、今回は近頃テレビやネット等で耳にする機会があると思われる「Z世代」にフォーカスしてお話したいと思います。

Z世代とは明確な定義付けがなされているわけではありませんが、一般的には10代から20代前半の若者のことを指す言葉として使われています。この世代は情報発信力に長けており、SNS等を通じて多くの人々に影響を及ぼしています。これにより、商品や店舗が有名になる例は珍しいものではありません。情報収集源として、既存のグルメサイトではなくInstagramやTikTokなどの動画を閲覧できる媒体で取得しているようです。そのため、身近なツールからリアルタイムな情報を求めている世代と言えます。

なかでも、Z世代の食生活に対する主な価値観としていくつかご紹介させていただきます。一つ目は食意識についてです。特に若い女性の方が重視している考えであり、糖分や塩分を控え健康や美を考慮した食事に変化しているようです。二つ目は「背徳感」のある食べ物についてです。またの名を「ギルティーフード」とも呼ぶみたいです。高カロリーな食べ物やにんにくなどの香辛料を使用した料理などが人気を集めており、

非日常を味わうことができ、ストレス解消などの役割をも担っています。健康志向の食事と背徳感のある食事を使い分け、メリハリをしっかりとつけて食生活を楽しんでいるようです。

また、従来はインスタ映えなど色鮮やかな物が人気を博していましたが、今はレトロな空間や食べ物も重視されており、いわゆる「エモい」ものが好まれているそうです。そのためタピオカのように近い将来、平成に流行していたものがブームになるかもしれません。今後もトレンドの最先端をいくZ世代から目が離せません。

K・M

当社製品情報

中華麺用粉：『花象 サルビア』

中華麺用粉	灰分	粗蛋白
サルビア	0.33 %	11.3 %

今回ご紹介するのは、中華麺用粉の『花象サルビア』です。色調に優れ、ソフトで粘弾性ある食感の「準強力粉」となっております。

具体的には、中華麺としては、表面滑らかで、モチ感のある麺となります。低加水から多加水等、幅広い加水条件でご使用いただける汎用性も特徴となっております。皮物としては、明るい色調で柔軟性のある皮になります。近年の「餃子」トレンドとして、「無人冷凍販売所」・「厚め皮のモチモチ餃子」が取り上げられております。

まず、「餃子」といいますと、薄く延ばす為に生地に伸展性が求められ、生製品の為、変色が嫌われます。この為、原料小麦粉としては、準強力～強力でグレードの高いものを使用します。皮は薄く乾燥しやすいので、柔軟性を保つ為、加水量を多くする傾向があります。

特に、中国の餃子は、主食のひとつとして一度に沢山食べられる「水餃子」が主流です。屋台を中心に売られている皮の薄い「焼き餃子」もあります。華東や華南では点心の一種で「蒸し餃子」が良く見られ、小麦粉だけでなく米粉を使うなど様々なバリエーションが存在します。

一方、日本の餃子は、日本で独自に進化し、「焼き餃子」が主流です。用いる具材、調理法も中国で主流のものとは異なります。薄めの皮、具材は豚ひき肉、キャベツ、ニンニク、ニラが一般的で、焼き目は上として皿に盛る特徴があります。

これらの水餃子(中国風)や、トレンドの「モチモチ」焼き餃子(日本風)のような厚みのある皮でも、しっかりと「モチ感」が有り、保形耐性のある餃子用粉としてもお試しいただければ幸いです。その他にも、冷やし・蒸し中華麺、焼売等でも、高いご評価をいただいております。長くご愛顧いただき誠にありがとうございます。是非よろしくお願ひ致します。



比較的暖かい気候と言われる千葉も、いよいよ冬らしい寒さになってきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。コロナ禍に入り、自転車や自家用車での通勤が増えたと何かの記事で読みましたが、そろそろ路面の凍結が気になるようになってきました。風邪をひかないための寒さ対策はもちろんですが、お足元にも十分注意し、怪我の無い年末をお過ごしください。年末といえば、ちょっとしたお祭りムードになりますが、今号の雑感は一足先にサッカー界にて開催されたお祭り、ワールドカップの話題です。

ワールドカップを応援して

皆様、この頃はいかがお過ごしでしょうか。ワールドカップを観ていて、寝不足気味ではありませんか？この12月に入ってからのこの、寒い日が続いていますが、暖かい恰好をして、体調にお気をつけください。

最近『ブラボー』、という、サッカー日本代表の長友選手の発したフレーズが思い浮かびます。

残念ながら、今大会もベスト8の壁を破ることはできませんでしたが、十分に新しい景色を見せてもらったと感じています。予選のグループステージでは、過去優勝歴のあるスペイン、ドイツの2カ国に、強豪のコスタリカと、難敵揃いのEグループ(戦前は死のグループなどとも呼ばれていましたが)に入ってしまったことで、日本の予選突破は不可能とってしまったのは、日本国民の殆どがそうだったのではないのでしょうか。

それがなんと、初戦のドイツには2 - 1の逆転勝利、コスタリカには敗れてしまったものの、予選突破がかかる3戦目のスペインにこれまた2 - 1の逆転勝利という快挙を成し遂げました。予選グループの発表当初、日本国民の誰がこの様な事を予想出来たでしょうか。これだけで『ブラボー』ですよ！

残念な事に決勝トーナメントでは、クロアチア戦にて1 - 1のドローから、PK戦での敗退と、非常に悲しい結果となってしまいました。本当に惜敗でしたね。皆様にとっても、日本代表に対しては「新しい景色を見させてもらい、ありがとう」の気持ちなのではないでしょうか。私たちへ勇気を与えてくれた、そんな日本代表チームだったと思います。

ちなみに、私にとってはワールドカップでの印象に残るシーンというと、何と言っても当時アルゼンチン代表であった「マラドーナ」の5人抜き、通称神の手シュートです。このワールドカップの時期になるとどうしても毎回思い出してしまいます。「日本代表じゃあないじゃないか！」というツッコミについては何卒ご容赦ください！

今後日本のスポーツ界でのビッグイベントというと、来年の3月に野球のWBC開催が控えております。今大会にはメジャーリーグで活躍しているダルビッシュや、大谷も参加を表明しており、大きく盛り上がる事が予想されます。皆様で日本代表を応援しましょう。ガンバレ ニッポン！！

T・I



千葉製粉株式会社

製粉・ミックス事業本部

Tel:043-241-0116 Fax:043-241-0611 E-mail:seifun-mix@chiba-seifun.co.jp

【重要】本レポートは、あくまで小麦粉関連の情報提供を目的に作成されたものです。信頼できると思われる 公開情報に基づき作成されておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。読者の皆様におかれましては上記ご留意の上、ご覧くだされば幸いです。皆様に未永くご愛読いただけるよう執筆者一同精進いたしますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。